

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

1. 中小企業の経営支援に関する取組み方針

- ・経営方針ともいべき「企業理念」において、「地域社会の発展を常に考え行動すること」、「お客さまとの創造的な関係を深めること」等を掲げ、地域社会の一員としての自覚と責任を持ち、金融サービスの向上と自らの経営力の強化を図ることにより、地域経済の発展に貢献し、さらには地域金融の中心的な担い手として、金融の円滑化に貢献することをめざしております。
- ・「中小企業の経営支援」の考え方は、上記の企業理念や平成25年4月から実施している中期経営計画（「2013年 中期経営計画 V-プラン～価値提案銀行への進化～」計画期間 2013年4月～2016年3月）の考え方と同じ方向にあると考えております。従いまして、この中期経営計画の諸施策を着実に遂行することで、「中小企業の経営支援」に取り組んでまいります。

2. 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当行では、中小企業のライフステージに応じた円滑な資金供給やコンサルティング機能を強化するため、支援態勢の整備を進めております。

法人部コンサルティング室ならびに審査部審査業務室では、お客さまが抱えるさまざまな経営課題の解決に対し、お客さまの立場に立った最適なソリューションの提供に努めております。また、当行が持つ情報機能やネットワーク等を積極的に活用したコンサルティング機能の発揮に努めるとともに、その実効性を高める観点から、外部専門家、外部機関等と連携を図っております。

【連携を図る主な外部専門家、外部機関等】

- ・税理士、弁護士、公認会計士、中小企業診断士、経営コンサルタント等
- ・群馬県ならびに各市町村、経済産業局、各商工会議所、各商工会、群馬県産業支援機構、中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構、信用保証協会、経営革新等支援機関、ぐんま中小企業再生ファンド等

3. 中小企業の経営支援に関する取組状況

(1) 創業・新規事業開拓の支援

A. 取組状況

- 外部機関との連携や本部スタッフを活用し、将来性のある企業の発掘・育成に取り組んでおります。具体的には、群馬県産業支援機構や産学官連携を活用し、事業化への支援を行っております。
- また、医療・介護事業、再生可能エネルギー事業等成長分野への取組支援を行っております。具体的には、事業計画の策定支援やビジネスマッチングを活用した事業化への支援を行っております。
- 「ぐんぎんビジネスサポート大賞」を開催し、新商品・新サービスの開発を募集、表彰するとともに、総業・事業化支援を行っております。

B. 平成26年度上期（平成26年4月～9月）の取組実績

- 成長分野である医療業の資金ニーズに的確に対応し、新規開業や分院開業に活用できるよう融資商品「ドクターサポートローン」の商品内容改定を行いました。
- 「ぐんぎんビジネスサポート大賞2013」への応募事業プランのうち、事業化を希望している事業プランに対して、本部と営業店が協働して事業化支援を行っております。具体的には、資金支援をはじめ、ビジネスマッチング、産学連携、補助金情報の提供等により事業化支援を行っております。事業化を予定している企業とは定期的な情報交換を行い、早期の事業化をめざし支援を行っております。

- ・事業プラン応募総数 382件
- ・事業化プラン支援数 215件

(2) 成長段階における支援

A. 取組状況

- ビジネスマッチングに関する全行的な情報の共有化を図り、地域企業に対して様々な情報を提供し、成長段階における支援を行っております。具体的には、経営革新等支援機関として、個々の取引先企業のニーズに対応した迅速かつ有効な情報の提供や、様々な業種に対応した展示・商談会の実施等、各種イベントの開催を行っております。
- 地域の枠を超えた新たな交流やビジネスチャンスの場を提供することを目的とした会員制組織「ぐんぎん経営倶楽部」を通じて、会員企業の百社百様の企業課題等に対応するため有益な情報を提供しております。
- 営業店及び本部に法人情報専担者を配置し、情報収集力の強化と情報活用体制の構築を図っております。

- 「補助金デスク」を設置し、各種補助金や利子補給金等の情報収集を行い、取引先企業に情報発信しております。
- 外部機関と連携し、本業支援を行える専門人材を派遣し、ものづくり企業等の支援を行っております。
- 医療機器産業を県内企業の柱に育て地域活性化に結びつけるため、医工連携に取り組み、医療機関のニーズとものづくり企業の技術力のマッチングに取り組んでおります。
- 医療・介護・食品・農業・環境等の有望分野について業種別担当者を置き、専門性を高めることにより、有望企業の発掘・育成に努めております。
- 取引先企業の海外展開ニーズに対して、貿易・外為取引の実務相談、海外進出に関するアドバイスや現地情報提供・手続支援、国内外での金融サービス提供、為替リスクヘッジの提案等、国内から海外まで一貫してサポートできる態勢をとっております。
- 不動産担保や個人保証に必要な以上に依存することなく、事業内容に適した融資手法に引き続き取り組んでおります。具体的には、中小企業の資金調達手法の多様化に対応するため、シンジケートローンの組成、私募債の引受、ABL（債権・動産担保融資）に取り組んでおります。また、経営者保証については、「経営者保証に関するガイドライン」（平成25年12月5日「経営者保証に関するガイドライン研究会」により公表。）の趣旨を十分に踏まえ、経営者と保証契約を締結する場合、既存の保証契約の見直しのお申し入れがあった場合、及び保証債務の整理を申し立てられた場合などには、本ガイドラインにもとづき、誠実かつ柔軟に対応するよう努めております。さらに、当該対応が当行の融資慣行として浸透・定着するよう努めております。

B. 平成26年度上期（平成26年4月～9月）の取組実績

- ビジネスマッチングに関する全庁的な情報の共有化を図り、地域企業に対して様々な情報を提供し、企業ごとのライフステージ別支援に取り組みました。

・ビジネスマッチング件数 265件

- 個々の取引先企業のニーズに対応した迅速かつ有効な情報の提供や、様々な業種に対応した展示・商談会の実施等、各種イベントを開催いたしました。

・「医療セミナー」 参加者162名
 ・「環境配慮型経営エコアクション21活用セミナー」 参加者 34名
 ・「M&Aセミナー」 参加者 63名

- 経営革新等支援機関として、「補助金デスク」を中心に取引先へ国等の中小企業支援施策を紹介し、個別相談会等を開催し活用支援を行いました。
- 平成26年4月より経営者の皆さまが抱える技術力向上、現場改善、生産性向上等の経営課題の解決を図るため「中小企業活性化支援サービス」を開始いたしました。具体的には、中小企業基盤整備機構、群馬県産業支援機構と連携し、両機構が行っている外部専門家派遣制度を利用するものです。既に9社のお取引先が外部専門家の派遣を受入れ、課題解決に着手しています。
- 医療機器産業を県内企業の柱に育て地域活性化に結びつけるため、医工連携に取り組み、医療機関のニーズとものづくり企業の技術力のマッチングに取り組んでおります。

・「介護施設」現場見学会の開催（前橋市） 参加者10社18名
 ・「医療施設」現場見学会の開催（高崎市） 参加者10社18名
 ・ものづくり企業のマッチング支援のため、群馬県、北関東産官学研究会、外部の専門機関等との連携強化を図るなど、積極的に取り組んでまいります。

- 医療・介護・食品・農業・環境等有望分野について業種別担当者を置き、専門性を高めることにより、有望企業の発掘・育成に努めました。

・ぐんぎん成長基盤強化支援資金融資 124件／5,442百万円
 ・群馬県農業信用基金協会保証付取扱実融資 3件／ 78百万円
 ・資源エネルギー庁利子補給金取扱融資 5件／ 441百万円
 ・環境格付融資 1件／ 214百万円

- 本支店、海外3拠点、海外派遣者、業務提携先との連携に加え、経済産業省と外務省が構築した「海外展開一貫支援ファストパス制度」も活用して、取引先の海外展開ニーズを幅広くサポートしました。

- ・「日中ものづくり商談会@上海2014」共催（群馬県と連名共催） 出展先14社
- ・「インドネシアセミナー・個別商談会」開催 参加者41社51名
- ・「海外展開一貫支援ファストパス制度」を活用した支援
支援先5社/うちベトナム4社、バングラディッシュ1社

○不動産担保や個人保証に必要以上に依存することなく、事業内容に適した融資手法の活用に取り組ましました。

- ・シンジケートローン（当行アレンジ分） 2件／ 3,100百万円
- ・私募債 68件／ 6,520百万円
- ・ABL 52件／10,428百万円

(3) 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

A. 取組状況

- 取引先企業に対する金融の円滑化、経営改善支援に積極的に取組んでおります。具体的には、本部・営業店が一体となり新規融資や返済条件変更等のご相談・お申込みに対して、迅速・適切な対応を図っております。
- 取引先企業の経営状況に応じ、ぐんま中小企業再生ファンド、DDS（資本性借入金）、ABL（債権・動産担保融資）等の手法を活用した抜本的な再生支援に取り組んでおります。
- 審査部改善サポート班が中心となって、取引先企業に対して経営改善計画策定等に関する支援や助言を行うなど、コンサルティング機能の一層の発揮に努めております。
- 中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構等の外部機関との連携も強化し、支援の実効性を高めております。
- 経営革新等支援機関（商工会、税理士、金融機関等で公的に認定された機関）とも連携を図り、企業再生支援に取り組んでおります。
- 「ぐんざん金融大学校」による体系的な業務スキル習得支援や本部スタッフによる支店行員向けの行内トレーニー等を通じ、融資業務に関する高い専門知識・業務スキルを持つ行員や、取引先企業に対して最適な経営改善支援や再生支援を行える行員の育成を進めております。
- 本部に専門スタッフを配置し、取引先企業に対する事業承継支援の取組みを強化しております。具体的には、税理士と連携したセミナーの開催、個社別訪問による相談及び専門家（税理士等）への橋渡し等を通じて事業承継問題解決の支援を行っております。
- リバースモーゲージなど高齢者保有の資産の有効活用につながる融資の提供や、お客さまの相続や遺言に対する相談ニーズの高まりに対応する遺言信託、遺産整理業務の取扱い等、地域ニーズに応じた新しい金融サービスの提供を図っております。

B. 平成26年度上期（平成26年4月～9月）の取組実績

- 条件変更を実施した取引先について、本部・営業店が一体となり経営改善計画策定を支援。また、「ランクアップ管理先」として抽出した取引先については「審査部改善サポート班」が営業店行員との積極的な帯同訪問を通じ、きめ細かい経営改善支援を展開しました。

- ・条件変更を実施した主要な先 542先
うち経営改善計画策定終了先 455先（策定率83.9%）

○取引先企業の経営状況に応じ、外部機関との連携等により様々な手法を活用した事業再生に取り組ましました。

- ・中小企業再生支援協議会新規持込み 5件
- ・地域経済活性化支援機構の活用 1件
- ・RCCの活用 1件
- ・再生支援先に対するABLによる資金繰り支援 1件

○「ぐんざん金融大学校」による体系的な業務スキル習得支援や本部業務を経験させる目的の支店行員向けの行内トレーニー等を通じ、融資業務に関する高い専門知識、業務スキルを持つ行員や、取引先企業に対して最適な経営改善支援や再生支援を行える行員の育成に努めました。

- ・「ぐんざん金融大学校」では業務別研修、出前講座、週末講座の実施による行員の能力開発及び研修フォローシートを活用した営業店OJTによる研修フォローの仕組みを開始
- ・業務所管部員が実地指導等を行う行内トレーニー制度の新設
- ・取引先企業に対して最適な経営改善支援や再生支援を行える行員を育成するため「経営改善支援講座」（全5回）や「経営支援能力養成研修」を実施
- ・コンサルティング能力向上の一環として「法人営業力向上講座」（全7回）の実施や中小企業診断士の資格取得及び日本生産性本部経営コンサルタントの資格取得を奨励

- 当行本支店を通じての事業承継ニーズ発掘に努めるとともに、本部に専門スタッフを配置し、専門家と連携しながら適切な提案・アドバイスを行うなど、きめ細かい対応を行ってまいりました。

・本部スタッフによる相談訪問件数 209件

- 高齢者が保有する資産を有効に活用した融資商品「リバースモーゲージ」についてセミナーを開催し、商品内容をご説明いたしました。セミナー後には個別相談会も実施し、お客さまのご要望に応じた適切な相談対応を行ってまいりました。

・「リバースモーゲージセミナー」 群馬地区 参加者79名
 埼玉地区 参加者28名

4. 地域の活性化に関する取組状況

A. 取組状況

- 地方公共団体や中小企業関係団体等の関係機関や、大学や研究機関等の外部専門機関との産学官連携を通じて、地域活性化に関するプロジェクトに対して情報・ノウハウ・人材を提供することに取組んでおります。
- 「ぐんぎん経営倶楽部」により有益な情報の提供とともに「ぐんぎん経営塾」を開催し、次世代経営者の育成支援を通じた地域貢献をめざしてまいります。
- 地方公共団体等と合同で主催するビジネスマッチングの開催を行い、広域的な販路拡大支援に取組んでおります。

B. 平成26年度上期（平成26年4月～9月）の取組実績

- 産学官連携のなかで大学等研究機関のシーズと企業ニーズをつなぐパイプ役として情報・ノウハウ・人材を提供することに取組みました。

・群馬県中小企業サポーター制度へ参加し、サポーター30名で中小企業を支援
 ・群馬大学共同研究イノベーションセンターと連携し、企業の研究開発ニーズを把握し対応
 ・北関東産学官研究会と連携し、大企業と中小企業とのマッチングを実施

- 法人向け会員組織「ぐんぎん経営倶楽部」を通じ、定例的に経営に有益な情報を発信しています。また、各種のイベントを開催し、新たな人脈形成の場を提供しています。こうした企業経営のサポートを通じ、地域経済活性化に取組んでおります。

・「ぐんぎん経営倶楽部」 会員数4,554社（平成26年9月末現在）
 ・「ぐんぎんBusiness Report」（メールマガジン）の発信 27回
 ・「勉強会」3回（第9回～11回） 参加者合計189名
 ・「第2期ぐんぎん経営塾」 参加者 25名

- 平成26年6月に世界文化遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」の保護活動を応援するため、平成26年6月23日より、運用管理費用（信託報酬）の一部を寄付する投資信託「富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド 愛称：群馬の絹遺産」の取扱いを開始しました。

・毎年7月の決算期末を基準に、1年間の寄付金額（純資産総額に年率0.1%を乗じて得た金額）を計算し、寄付を行います。
 ・寄付先は「世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金」を予定しています。

- 常陽銀行との地域連携事業を展開し、ビジネスマッチング商談会・広域的な販路拡大支援・観光PRに取組みました。

・「ぐんまのい～もの大発見! in 水戸」 平成26年4月開催
 ・群馬県、茨城県の「地域の魅力PRコーナー」の設置 平成26年7月より設置